

# 総合防災マップを活用し、災害への備えを

近年、雨の降り方が、局地化・集中化・激甚化しており、全国各地で豪雨災害が頻発しています。この総合防災マップに示した浸水想定等は、一定の条件下でのシミュレーション結果を示したものですが、その条件を上回る大雨や局地的な豪雨も多く発生しています。その場合、ここで示した範囲を超えて被害が拡大するおそれがあります。想定と異なる状況になっても、総合防災マップを活用して事前に災害や避難についてイメージすることができれば、いざというときに慌てずに行動することができます。災害発生のおそれが高まった場合に、町は積極的に様々な情報を発表しますが、その情報を活用し、避難などの行動を決断するのはあなた自身です。この総合防災マップを使って避難所や避難方法などを確認し、家族や地域で災害に備えましょう。

写真：国際航業株式会社・株式会社バスコ

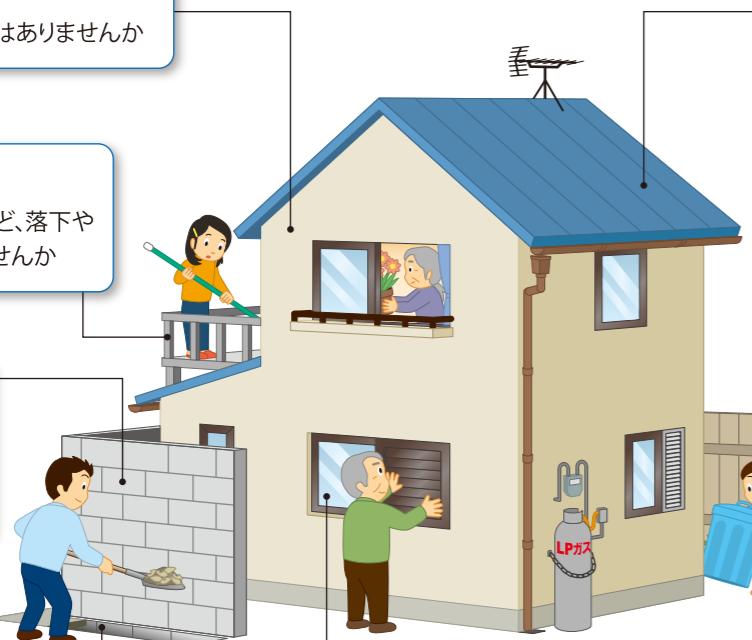
## 風水害の対策

### 家屋の被害を抑える

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

#### 外壁

- モルタルの壁に亀裂はありませんか



#### ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか



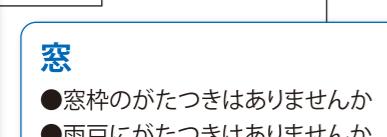
#### ブロック

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか



#### 排水溝

- 側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか



#### その他

- ガスボンベ(プロパンガス等)は固定されていますか
- 商店などでは看板のぐらつきはありませんか
- ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
- 庭木には添え木をしていますか
- 窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか

## 避難行動判定フロー

### あなたが取るべき避難行動は？

総合防災マップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

ご自身、または、一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、  
安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、  
播磨町が開設している  
自主避難所・避難所に避難しましょう。

はい

警戒レベル4が出たら、  
安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

はい

警戒レベル4が出たら、  
播磨町が開設している  
自主避難所・避難所に避難しましょう。

いいえ

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

避難所での感染症のリスクを低減するために、安全な親戚・知人宅やホテル等への避難も検討しましょう。

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

以下の3つが確認できれば、浸水の危険があっても自宅にとどまり、安全を確保することもできます。

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないか  
区域内の場合は…

→流れが速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります  
→地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

②浸水深より居室は高いか

5m～10m未満	3階床上浸水～4階軒下浸水
3m～5m未満	2階床上～軒下浸水
0.5m～3m未満	1階床上～軒下浸水
0.5m未満	1階床下浸水

③水位が下がるまで我慢できるか／水・食料などの備えは十分か